

市指定文化財<史跡>

ごしやのおじょうあと 五社尾城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市雪野



五社尾城は険しい山中にあったが、最近では市道雪野—^こ虎口線が開通し、城跡の麓まで林道が整備された。城跡の標高は320mくらいで、ほぼ南北の方向にやや弓なりにカーブを描いた稜線(尾根)の部分が約170m続き、この尾根が3条の堀切により大きく4区画に分割され、北側の堀切は林道になった。平坦な城跡の台地に「五社尾城跡」と書いた標柱が建っており、北方の人工の「削り落とし」は現在では切り立った岩石の崖になっている。『菊池風土記』には「雪野赤松嶽にあり、其所砂地にて赤松多し、居住の人、^{いまだきかず}未聞」と記されているが、近年の研究では隈部氏が城主であったと考えられている。

90年ほど前の写真では城跡一帯は丸い草山で、左の谷は棚田である。今も杉林内に棚田の石垣が残り、五輪塔の残欠が散乱している。

城跡から南方に続く峰の下の「^{がらん}伽藍」という真徳寺跡に、岩石に刻まれた等身大の卍があり、中腹まで登ると17代^{たけとも}武朝の墓がある。